

**令和元年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[平成30年度事務事業]**

<b>一般会計</b>		<b>事務事業分類</b>	A 一般事務事業
<b>事務事業名</b>	障害者(児)移動支援事業	<b>シート番号</b>	11-146
<b>担当部署名</b>	健康福祉 局 障害福祉 部 障害者支援 課	<b>評価責任者(課長名)</b>	増田

**Ⅰ. 基本情報**

<b>基本情報</b>	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無	
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	障害者総合支援法第77条第1項第3号				
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画				
5	事業実施の経緯	ガイドヘルパー派遣事業としてヘルパー派遣していたものを、障害者自立支援法施行(H18)における地域生活支援事業(必須事業)として実施。平成25年4月に障害者自立支援法は障害者総合支援法に改められたが、移動支援事業は引き続き地域生活支援事業(必須事業)のひとつとして位置づけられている。					

**Ⅱ. 事業概要**

<b>事業概要</b>	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	身体障害者(全身性障害者)・知的障害者・精神障害者・障害児			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	社会参加・余暇活動を支援することで、地域で生活することを支援する。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	指定居宅介護事業者又は指定重度訪問介護事業者からの登録申請に基づき、業者登録を行う。 支給決定を受けた利用希望者は、登録業者に直接利用を申し込むことにより、サービス提供を受けている。 支給決定障害者のガイドヘルパー利用料を扶助(事業所による代理受領)する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

**Ⅲ. 投入量**

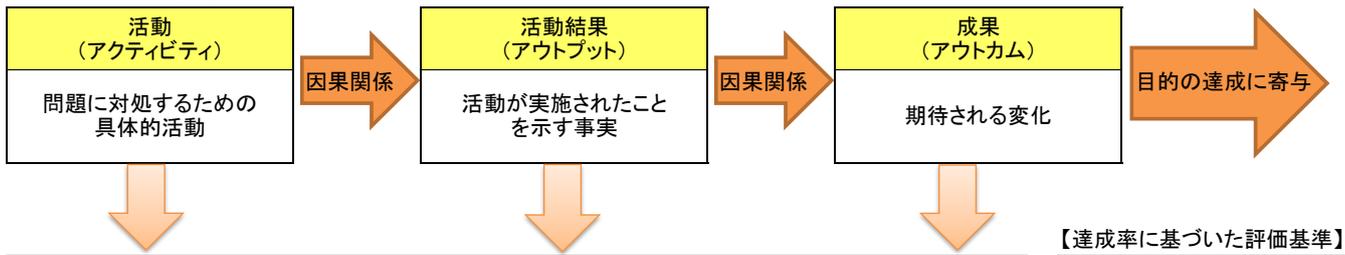
	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
<b>事業コスト</b>	11 事業費 (a)	千円	1,097,983	1,109,616	1,087,390	1,082,416	
	主な事業費内訳	扶助費	千円	1,097,983	1,109,616	1,087,390	1,082,416
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	787,800	771,911	820,342	773,801
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	310,183	337,705	267,048	308,615
12	人件費 (b)	千円	12,260	11,560	11,560	11,480	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,110,243	1,121,176	1,098,950	1,093,896	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	障害者(児)移動支援事業	シート番号	11-146
-------	--------------	-------	--------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績																															
14	<p>平成30年度においても、屋外での移動が困難な対象者に対してガイドヘルパーが付き添い、外出時の移動の介護または介助・排泄の介助・食事等の介助・コミュニケーション支援(代筆・代読)等を行うことで、障害者が地域で生活することを支援し、福祉の増進に貢献した。平成30年度は3,719人がサービスを利用し、利用時間は547,202時間であった。</p>																														
15	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">指標名</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 15%;">平成28年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 10%;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">サービス利用者数</td> <td rowspan="4">人</td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3,628</td> <td>3,712</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">算出方法・設定根拠など</td> <td colspan="4">サービス利用人数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	サービス利用者数	人	目標値	—	—	—	実績値	3,628	3,712	3,719	達成率	—	—	—	評価	—	—	—	算出方法・設定根拠など		サービス利用人数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)			
指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																										
サービス利用者数	人	目標値	—	—	—																										
		実績値	3,628	3,712	3,719																										
		達成率	—	—	—																										
		評価	—	—	—																										
算出方法・設定根拠など		サービス利用人数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)																													
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">指標名</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 15%;">平成28年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 10%;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">サービス利用時間</td> <td rowspan="4">時間</td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>548,894</td> <td>552,859</td> <td>547,202</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">算出方法・設定根拠など</td> <td colspan="4">サービス利用時間(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	サービス利用時間	時間	目標値	—	—	—	実績値	548,894	552,859	547,202	達成率	—	—	—	評価	—	—	—	算出方法・設定根拠など		サービス利用時間(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)			
指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																										
サービス利用時間	時間	目標値	—	—	—																										
		実績値	548,894	552,859	547,202																										
		達成率	—	—	—																										
		評価	—	—	—																										
算出方法・設定根拠など		サービス利用時間(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)																													

#### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>利用者数、利用時間ともに顕著な増減は見られない。年度間の多少の増減は、天候や災害等の影響が大きいものとする。</p>
----	--

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。